

心に残る文化財子供塾 活動の概要と様子

一出雲市立伊野小学校一

1. 概要

7月8日（月）出雲市立伊野小学校で『心に残る文化財子供塾』を開催しました。

はじめに、大仏が造られた奈良時代について解説し、聖武天皇がどうして大仏を造ろうと考えたか、また、大仏の大きさや特徴について解説を行ったうえで、大仏パネルの製作を行いました。完成後は、大仏の手や顔などと身長を比べるなどして、大きさを体感してもらいました。

後半は、出雲市青木遺跡の出土品を観察してもらいました。土器の形や文様について積極的に意見を出し合い、時間ぎりぎりまで土器を手にとり興味深く観察していました。

2. 様子

① 大仏の特徴について説明



② 大仏パネルスタート



③ 大仏完成



④ 出土品を真剣観察中



3. 子ども塾を終えて

①児童のみなさんから

- ・発掘調査をしてみたい。
- ・古墳を見て調べてみたい。
- ・いろんな時代の出土品を見てみたい。

②担任の先生から

- ・教師では語れない話もして下さり、子供の学びが深まりました。大仏の大きさを実感できるとてもよい機会でした。
- ・2時間確保し、ゆっくり土器のことなども学べるとよかったです。

③埋文センターから

- ・熱い最中の活動でしたが、児童の皆さんが協力し合って大仏パネルに挑戦し、意欲的に学習していただきました。こちらから説明したこと以上に、それぞれが気づいたことを積極的に発言してくれました。

早めに打ち合わせを行い、2時限で行うメニューなどを提案しておくとうよかったかと思いました。